

ネパールに魅せられた日本人たち

9月20日(火) 午後6時30分～8時30分 (開場6時)

今年、日本・ネパール国交樹立60周年、その契機となった日本隊によるマナスル初登頂60周年にあたります。また、日本人で初めてネパールを訪れた仏教学者で探検家の河口慧海の生誕150周年とも重なります。

立正大学とネパールとの関わりは古く、1967年より1977年まで、ネパール政府との協定のもと、釈迦が青年時代までを過ごしたと言われる「推定カピラ城遺跡(ティラウラコット)」の学術調査を行いました。また、河口慧海が持ち帰った仏教経典や資料を収蔵しています。

本講座では、ネパールで探求と探検を繰り返した日本人の軌跡を、写真家石川直樹氏の講演、60年前の日本隊によるマナスル世界初登頂を伝えた記録映画「マナスルに立つ」、プロ登山家竹内洋岳氏と石川氏との対談で迎えるほか、河口慧海がネパール国王より寄贈された梵文写本「華嚴経入法界品」なども特別展示します。

第1部 講演 「日本人探検家の辿った道」 講師 石川直樹氏

第2部 記録映画 「マナスルに立つ」 短縮版 協力 毎日新聞社

第3部 対談 「探求×探検 ネパールに魅せられて」 石川直樹氏 × 竹内洋岳氏



梵文写本「華嚴経入法界品」(立正大学 図書館蔵)

講師プロフィール



石川直樹氏 (いしかわ なおき) 写真家

1977年東京生まれ。写真家。東京芸術大学大学院美術研究科博士後期課程修了。人類学、民俗学などの領域に関心を持ち、辺境から都市まであらゆる場所を旅しながら、作品を発表し続けている。『NEW DIMENSION』(赤々舎)、『POLAR』(リトルモア)により、日本写真協会新人賞、講談社出版文化賞。『CORONA』(青土社)により土門拳賞を受賞。著書に、開高健ノンフィクション賞を受賞した『最後の冒険家』(集英社)ほか多数。最近では、ヒマラヤの8000m峰に焦点をあてた写真集シリーズ『Lhotse』『Qomolangma』『Manaslu』『Makalu』『K2』(SLANT)を5冊連続刊行。最新刊に写真集『国東半島』『髪』『潟と里山』(青土社)、『SAKHALIN』(アマナ)がある。



竹内洋岳氏 (たけうち ひろたか) プロ登山家、立正大学客員教授

プロ登山家。1971年東京都生まれ。立正大学仏教学部卒。株式会社ICI石井スポーツ所属。在学中の1995年にマカルーの登頂に成功して以来、2012年5月26日、ヒマラヤのダウラギリ登頂に成功し、日本人初の8,000m峰全14座完全登頂という偉業を達成。2013年度より立正大学客員教授に就任。2013年には、「第17回植村直己冒険賞」「文部科学大臣顕彰 スポーツ功労者顕彰」「第15回秩父宮記念山岳賞」をそれぞれ受賞している。

立正大学 2016年秋の講演会・公開講座

受講料・入場料は
すべて無料です。

【品川キャンパス】東京都品川区大崎 4-2-16

■文学部公開講座(品川区共催 事前申込み受付中)

「没後400年 シェイクスピアを視る」

日程 9/28～10/26の毎水曜日 毎回18:30～20:30

■仏教学部仏教文化公開講座(申込み不要)

「未来を照らす仏教の叡智」

日程 10/13(木) 13:30～16:00

■心理学部公開講座(品川区共催 事前申込み受付中)

「魅かれあうところの不思議—愛と愛でないもの—」

日程 10/14(金) 10/21(金) 両日とも18:30～20:00

■立正大学シンポジウム(経済学部)

「日本経済の現状および今後の課題(仮)」

日程 11/16(水) 18:30～20:30

【熊谷キャンパス】埼玉県熊谷市万吉 1700

■立正大学博物館企画展

「深海の宝箱—寶石サンゴ展」

日程 10/1～10/29の月・水・木・金・土 10:00～16:00

■法学部・法制研究所シンポジウム

「スポーツとジェンダー」講師 山口香氏(筑波大学准教授)他

日程 11/5(土) 14:00～17:00

■社会福祉学部創設20周年記念公開講座(申込み不要)

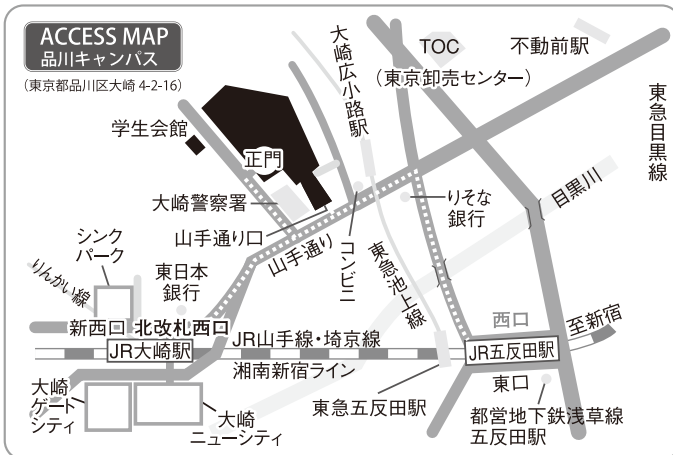
「命ある限り道は拓かれる」講師 船後靖彦氏(ALS患者 ㈱アース取締役副社長)

日程 11/12(土) 13:00～14:30

■社会福祉学部創設20周年記念講演会(申込み不要)

「世界からのメッセージ～平和と命の大切さ」講師 渡部陽一氏(戦場カメラマン)

日程 11/13(日) 13:30～15:00頃



山手線：
大崎・五反田駅下車 徒歩5分

都営浅草線：
五反田駅下車 徒歩5分

東急池上線：
大崎広小路駅下車 徒歩1分

東急バス：
渋41(渋谷駅一大井町駅)
大崎警察署前下車 徒歩1分

